

＝ 普及 情 報 ＝

No. 21

平成30年8月17日

東部農林振興センター出雲農業普及部

標 題

ブロッコリー排水対策実演会を開催しました！

～湿害、病害に強いブロッコリーづくりのために～

(ダイジェスト)

出雲市平田地域ではブロッコリー栽培が盛んに行われています。近年、集落営農法人での作付けが増加し、水田での作付けが多くなっています。一方、水田転作の圃場では、排水不良による生育不良や病害の発生が収量低下の大きな要因となっていることから、今回、排水性の改善を目的に、実演会を開催しました。

今年5月に部会とともに策定した「かあちゃんブロッコリー産地再生プロジェクト」において、重要課題である排水対策の解決のため、今回、現地実証圃を設置しました。排水性の改善を目的として行いました。

現地実証圃は農事組合法人の水田で実施し、60aの圃場を①額縁明渠のみの区（対照区・7.5a）、②額縁明渠＋サブソイラーの区（30a）、③額縁明渠＋カットドレーンminiの区（22.5a）に区分けして施工し、機械については（株）中四国クボタの協力のもと準備・施工しました。

8月1日には関係者約50名が集まり、溝堀機、サブソイラー、カットドレーンminiでの施工の様子を見学しました。生産者からは「作業にかかる時間は思いのほか短く、容易に施工できる」等排水対策への関心の高さがうかがえました。

今後、9月上旬に定植が行われ、11月上旬頃から収穫が始まります。当普及部では、排水の状況や、ブロッコリーの生育、病害の発生状況等を調査を行い、今後の排水対策について検討していきます。

〈施工の時間〉

- ・額縁明渠施工（作業時間：約1時間/60a）
- ・サブソイラー施工（作業時間：約45分/30a）
- ・カットドレーンmini施工（作業時間：約15分/75m×6本）



額縁明渠の施工



サブソイラー



沢山の方が見学されました